

加賀中学校

学校便り

平成23年7月16日

<No.9>

板橋区立加賀中学校長 北村 康子

HP: <http://www.ita.ed.jp/edu/kagajh/>

<学校教育目標>

自ら学び 創造する生徒

豊かな心で 思いやりのある生徒

ねばり強く 健康な生徒

加賀中のフィードバック学習方式を生かした学習指導

板橋区では、小学校5年生から中学2年生までの継続した取組で学習面でのつまずきを克服するフィードバック学習方式を進めています。小・中学校の学習は、知識・技能のいわゆる「積み重ね」が必要です。「つまずき」を明らかにしてつまずいた内容に戻って学び直し、確実に習得していくことで、確かな学力の定着を図っていかうとする板橋区独自の学習方式です。

4月25日（月）には1年生・2年生において調査を実施しました。

7月には調査結果を個票で返却し、個別に夏期補習への参加の声かけをしています。ここでは、個々の課題に沿ったフィードバック学習教材に取り組みます。

10月17日（月）には学習ふりかえり検証調査を実施します。学習の成果を確認していくことができます。保護者の皆様には、学習への励ましと家庭での学習習慣の定着にご協力をお願いいたします。

<フィードバック学習の取組における目標>

調査データに基づき、生徒の学習定着状況を把握し、指導方法の工夫等について全校体制で取組みます。

また家庭との連携を密接に図り、以下の取組目標を達成します。

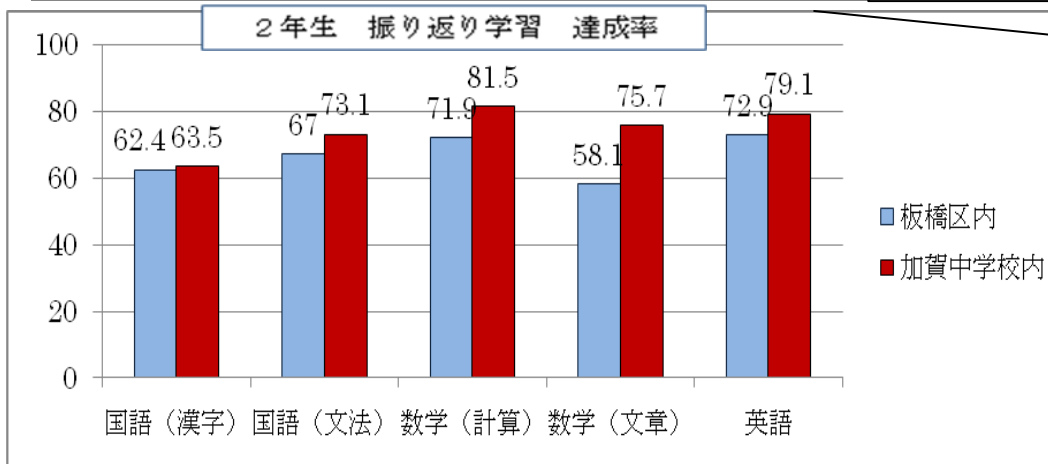
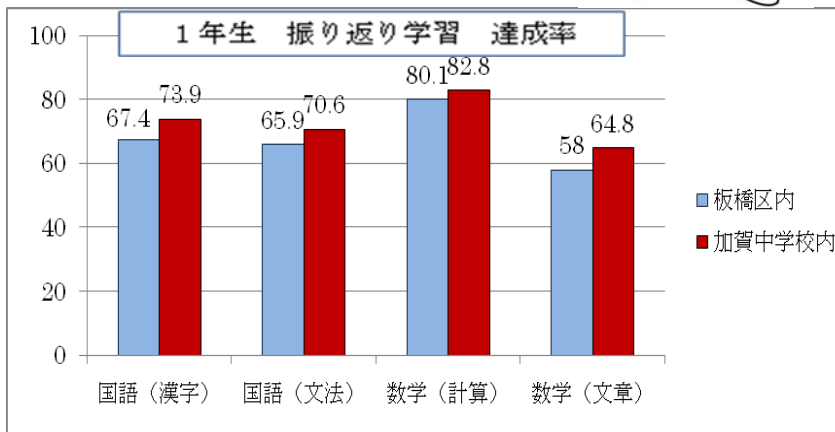
- 基礎的・基本的学習内容の定着
- 日常の学習活動への意欲化
- 家庭学習習慣の定着
- 教職員の学習支援体制の拡充
- 生徒理解に基づく授業改善



<目標達成の取組の重点>

目標を達成するため以下の内容を指導の重点とします。

- ・全校体制での学習支援システムづくり
- ・学習教材・補助教材・解答の有益な活用方法の工夫
- ・保護者との連携方法の具体化
- ・習熟度に応じた（個に応じた）放課後補習及び夏期補習実施
- ・放課後・夏期自習室・質問教室の開設
- ・参加意欲を高める指導方法の工夫（修了証の発行・達成進度票・学習計画表等の作成）
- ・授業等既存の取組での基礎的・基本的な学習習得の機会（5分間テスト・夏休み明け各教科コンクール・朝学習）
- ・学習指導講師・学習支援員等の活用



本校ではすでに進路・学習部から「夏休み補習学習・放課後補習学習参加確認票」が配布されています。

この夏休みの目標は、基礎的・基本的な内容の習得になります。学習の状況を見極めて、2学期の学習につなげていく基礎づくりをします。ご家庭との連携も図ってまいりますのでご協力をお願いします。

板橋区立加賀中学校における特別支援体制

1 基本姿勢

特別支援体制づくりの要素として、次の3点を基本姿勢とします。

(1) 早期発見・早期対応

個別の支援体制として配慮していく状態を早期に発見し、支援につなげます。

早期から支援することで、学校生活上の困難が軽減され、不登校や引きこもり、社会生活への不適応といった二次的な障害を防ぐことにもつながります。

(2) 個別的な継続支援

必要な支援が途切れないように支援のコーディネートを行います。

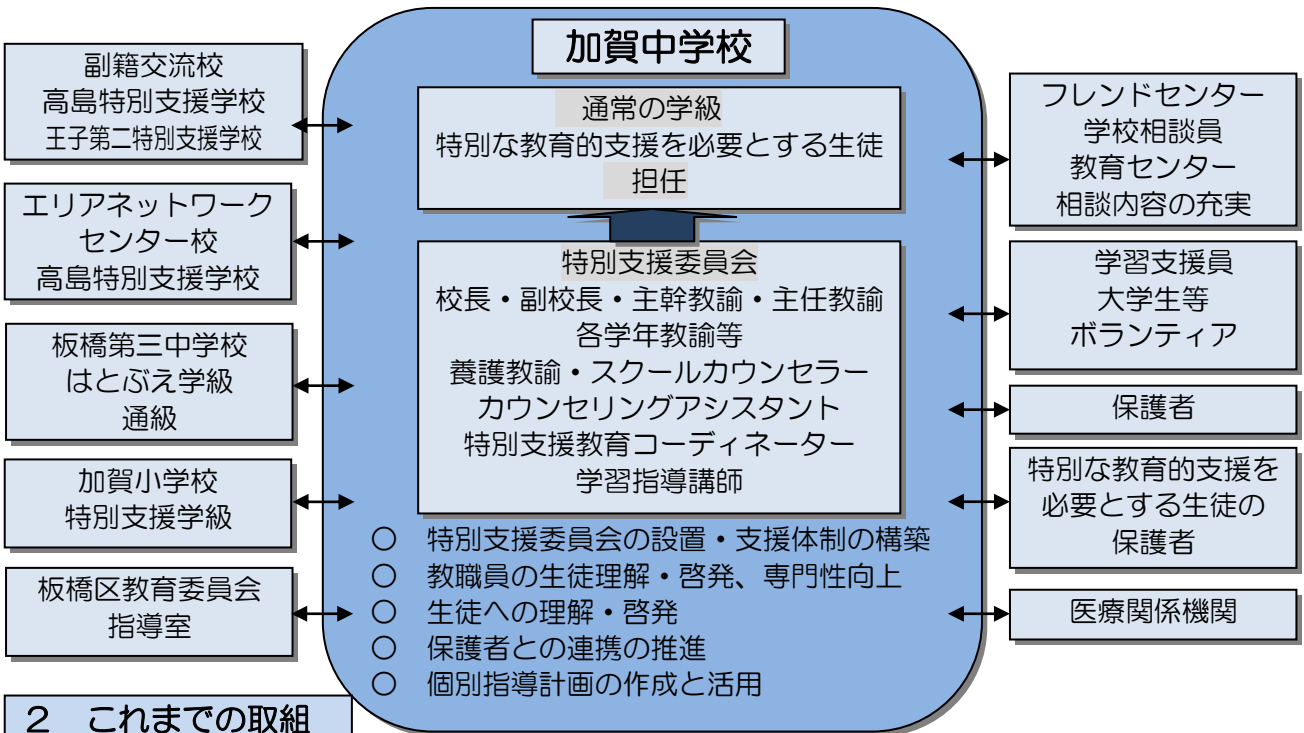
支援内容や支援情報の引継ぎや支援の継続性を確保します。

(3) 一貫した支援体制の整備

保護者の皆様への支援を視野に入れて、関係諸機関につなげる支援体制を整えます。

支援にあたっては、本人だけでなく、家庭(保護者の皆様)への支援をします。

板橋区立加賀中学校における特別支援体制



2 これまでの取組

生徒理解・支援を必要とする生徒の早期発見に努めています: 全教職員で生徒情報を共通理解します。

週1回の特別支援委員会の実施: 個々の生徒の課題に対する支援策を検討し支援体制を整えます。

関係諸機関との連携強化: 保護者と学校と家庭での生活の状況をつかみ諸機関等につなげます。

教職員の専門性向上: カウンセリングマインド・特別支援教育における事例研究・講演会参加

放課後補習や取り出し支援
スクールカウンセラー・学習指導講師との連携

社会性・コミュニケーション能力の育成: 教科指導・道徳・総合的な学習の時間・特別活動

保護者の皆様への対応: 特別支援に対する正しい理解・啓発

望ましい集団活動の推進: 部活動・学級活動・生徒会活動・学校行事等

個別の生徒指導と保護者との相談活動の充実: 適応支援の効果的な方法の模索・解決策の提案

副籍制度を活用した交流活動

王子第二特別支援学校	渡辺あすかさん	3年2組	直接交流
学期に数回 学年集会6月20日(月): 生徒へ紹介			
部活動: 環境生活部	毎週火曜日	車椅子で登校しています。	
同上	池村友見さん	3年	間接交流
同上	田中健斗くん	1年	間接交流
高島特別支援学校	岩渕草太くん	3年3組	直接交流

指導内容の記録・支援情報の引継: 支援の継続性の確保

施設環境・人的配置の整備
加賀ルーム・東京成徳大学との連携: 個別の相談支援が可能な環境づくり